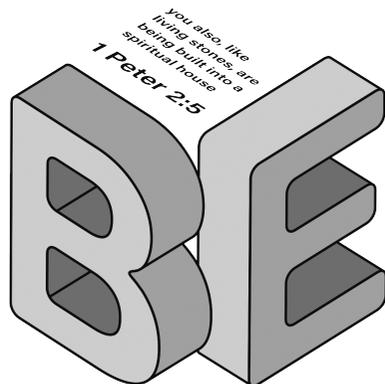


YOUTH MANNA



あなたがた自身も生ける石として霊の家に築き上げられ、神に喜ばれる霊のいけにえをイエス・キリストを通して献げる、聖なる祭司となります。
(ペテロの手紙第一 2章42節)

2026/2/23(月)

民数記 27章

●モーセは神様から、アロンと同様に自分の命がもうじき終わることを告げられた(13-15)。このことを聞いたモーセの反応はどのようなものだっただろう。(15-17)

●それに対して、神様はどのようにお答えになっただろう。(18-21)

★イスラエルの民にとってはヨシュアが次のリーダーであることは明らかだったかもしれないし、モーセも同じように考えていたかもしれないけど、モーセは神様にそのことを聞きました。私達も、日々または人生でも様々な選択をしなければならないけど、神様に聞いてそれに従えるように祈ろう！今選択を迫られている人は「神様どうすればいいですか」と聞いてみよう！

2026/2/24(火)

民数記 28:1-15

これはイスラエルの民が約束の地に入った後、どのようににささげ物を神様にささげるかの命令だよ。どのように言われているか確認してみよう。

- ・毎日(3-)
- ・毎週の安息日(9-)
- ・毎月の最初の日(11-)

荒野の旅では、マナを食べ、雲の柱に従って動く生活だった。そこでは必然的に民の生活のすべてが神様と共にあったけれど、約束の地に入ってから神様を見失わず、神様中心に生きることが必要だったんだ。みんなの毎日の神様との交わりはどのようなものになっているだろうか？「神様と共に生きる」ことについて考えてみよう！

2026/2/25(水)

民数記 28:16-31

●一年で記念すべき祭りについて。どんなことが書いてあるか読んでみよう

- ・第一の月の14日(16)：過越
- ・第一の月の15日から七日間(17)：種なしパンの祭り
- ・種なしパンの祭りから7週目(26)：初穂をささげる祭り

●みんなにとって大切な記念日は何か？それらを神様を覚える時にすることは自分の信仰にとってどれほど大切なことだろうか？

●イエス様は過越の祭りの最中に十字架にかけられ、七週の祭りの時に聖霊が降られた。イエス様が成就してくださったことと、聖霊の働きが教会を通して進められていることを覚えよう！

2026/2/26(木)

民数記 29:1-11

イスラエルの第七の月は新年をお祝いする月です。一年の農作業を終えて、次の新しい一年のために備えをする時でした。

- ・この月の一日は聖なる会合が開かれ、特別なささげ物が捧げられる。
- ・この月の十日は自らを戒める日。全ての仕事をやめて安息に入り、悔い改め、神様の赦しを受け取る。

●なぜ新しい歩みに入る時に、このようなことが命じられたのだろう。神様との関係に焦点を当てて考えてみよう。

●4月から始まる新しい歩みについて考えてみよう。一番大切な準備は、神様との確かな関係を持つことだね。自分の生活を振り返って、神様との関係を豊かに持つためにすべきことをしていこう！！

2026/2/27(金)

民数記 29:12-40

●この祭りは何日間続いた？12節を読もう。

●この祭りは神様が民の荒野の旅を守ってくれたことを記念する「仮庵の祭り」のことなんだ。イスラエルの民は旅の間、神様にたくさん文句を言っていたね。そういう時、神様はどうしていただろう？

●神様がしてくれたことを振り返ることはとても大切なことだね。今年GCは50周年を迎えるよ。礼拝の中で、これまでを振り返り、これからにつなげようと語られたことは覚えているかな？君のこれまでの教会生活を振り返り、感謝を数えてみよう。そして、神様に感謝のお祈りをしよう。

2026/2/28(土)

民数記 30章

今日の箇所は、神様に対して特別な献身や約束をささげる誓願について書かれていたね。もちろん普段から言ったことに責任を持つことは大切。それは相手や自分を大事に思う尊敬の心があってこそできるよね。だからこそ、それ以上に、神様に対して口にしたことには、必ずそれをするということが求められたし、それだけ自分から神様に「やります」と言ったことには重みがあったんだ。

そして1番私たちを大切に、救いも含めたすべての約束を守ってくださるのは神様ご自身。その神様に私たちも神様に従いますと応答しながら誠実に歩いて行こう！

2026/3/1(日)

民数記 31:1-24

神様はモーセに、「ミディアン人に復讐を果たせ」と最後の戦いを命じます。神の導きによる戦いに勝利し、モーセはミディアン人を徹底的に排除します。

戦いの結果を見ると残酷に思えるかもしれませんが。しかし、民が誘惑や罪から離れ、きよく生きるためには必要なことでした。「これくらいなら」とか、「一回ぐらい」という誘惑や惑わしにあうことが私たちにもあります。しかし、モーセは徹底的に神様の言うことを選び、従いました。

毎日の生活の中で、神様のことばを選び、罪から離れて生きることができるよう、神様の守りがあるように、祈ろう。